



1年学年だより

発行日：令和2年6月30日（火）

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

学校長：三浦 昌彦 NO. 2

学校生活が再開しました

うっとり梅雨空の中、紫陽花が美しく咲き誇り私達の目を楽しませてくれています。

今年度着任いたしました、副校長の藤森潤子です。ようやく6月1日に学校が再開することができ、感謝の気持ちでいっぱいです。学校に生徒達の元気な姿が戻り、私ども教職員の喜びもひとしおです！



第一期と名付けた1日からの分散登校初日。生徒の皆さんだけでなく先生達や保護者の皆様も経験したことのない“緊急事態”が明けての学校再開は、誰もが緊張し手探りでスタートでした。全員マスク姿で昇降口にて手指の消毒をし、教室内では感染防止のために市松模様で着席です。話をして良いのかどうかも気を遣い、附属中とは思えないシーンとした教室に、先生達の方がドギマギしていたかもしれません。それでも先生や友達との出会いと、今年度初めての授業に目をキラキラさせている生徒の皆さんのようすを嬉しく思いました。

第二期の15日からは時差通学を続けながらクラス全員での生活が始まりました。この頃にはクラスの仲も温まり、教室からは笑い声が響き始めました。上手に互いを思いやりながら、学活や生徒会活動を元気に推進していく生徒の皆さんの逞しい姿に、先生達の方が勇気を与えられた気持ちです。

EGGでは、「世界を幸せにする第一歩」という大テーマで学習が始まりました。今年、皆さんは何を自分のテーマに選ぶのでしょうか？

附属中の教育理念は、～知性・自主自立・創造～。さあ生徒の皆さん、安心・安全な新しい附属中学校の生活を、共に創っていきましょう！

学校再開後の生徒の様子と、学校の対応

6月1日より分散登校という形から再開となり、6月後半からは一斉登校となりました。生徒たちの中には「早く友達に会いたい」「学校に行きたい」と再開を心待ちにしていた生徒も多かったのではないかと思います。しかし3か月という長きにわたる臨時休業からやっと学校が再開されたのは、梅雨の季節に入ろうかというムシムシと暑く、熱中症も心配される頃からでした。あまりにも長かった休業期間で、体力も多少衰えたとい生徒がいましたが、久しぶりに40人のクラスでの授業に疲れ、中には気分が悪くなる生徒もいました。

保護者の皆様にも毎日ご協力いただいておりますが、学校でも生徒の「健康観察」を重視し、登校中の生徒の様子と体温測定を忘れた生徒への検温を、毎日職員が“くすの木広場”で行っております。また生徒が使用する教室や学校施設は全て、全職員で毎日消毒作業を行っております。

生徒たちは手洗いや消毒、マスクの着用、換気、ゴミの持ち帰り等、自分たちができる感染予防対策に取り組んでおり、一人ひとりの意識の高さには本当に感心させられます。

いつかこれまでと同様の日常は戻ってきます。その日まで、今私たちにできることを前向きに取り組んでいきたいと思います。

養護教諭 山崎涼子

南高校附属中学生としてのひと月

6月1日から時差通学、分散登校が始まり、15日から40人登校ができるようになり2週間。ただでさえ初めての中学校生活に緊張や不安でいっぱいなのに、みんながマスク着用で声もひそやかに、表情もなかなか見えず。9期生の中学校生活はどうなることかと心配していましたが、やはり中学生は元気のかたまり。日を追うごとに少しずつ言葉をかわし、移動教室を一緒にしたり、係活動を決めたりしていくうちに、だんだんと下校時に声をかけあって、話しながら階段を下りてくるようになりました。休校期間中は「早く学校に行きたい」「早く友達に会いたい」と願っていたことでしょう。学校が再開され、誰かと一緒に過ごすことの楽しさをこれまで以上に実感していることと思います。これから9期生160人は、3年間そして6年間をともに過ごす仲間です。この非常事態の中で、手探りでつながり始めた仲間です。ともに支え合って、ともに成長していきましょう。

附属中学生になって楽しみにしていること、頑張りたいことも、思い切りできる時が必ずめぐってきます。休校期間中に書いた『中学校生活で楽しみにしていること』の作文のほんの一部を紹介します。



雨降る初日。9期生発見！

僕は小学生の時に何回か南高祭に行った。いつ行っても、どのクラスも個性豊かでとても楽しかった。今年からいよいよあの楽しかった南高祭を作る側に立つことができる。これが僕が一番附属中学校で楽しみにしていることである。ひとつの大きなものを作り上げるには、みんなが同じ方向を向いて協力し合わなければいけない。クラスで一致団結することが大切だと思う。

ただの中学生ではなくて、憧れていた学校の生徒になること、そして、今まで仲の良かった友だちが誰一人いない場で6年間を過ごすこと。緊張と心配で胸がいっぱいだけれど、何事も一生懸命に取り組むことを忘れず、楽しく学校生活を送りたいです。まずは、友だちを作ることから頑張ります！



40人が揃いました



160人で初めての学年集会

私は宇宙が好きです。附属中に入学した理由の一つとしてJAXAとの連携があったことが挙げられます。宇宙が好きな友人ができたなら一緒に天体観測をしてみたいです。JAXAにも行ったりして、色々な話をしてみたいです。宇宙以外の分野でも私と同じような意思を持った人もいると思います。幅広く人と会話をしていく中で、自分の知らなかったことに会うのが楽しみです。

現在、僕たちの身の回りには地球温暖化や砂漠化、オゾン層の破壊などの様々な問題がある。これらの問題について研究し、よりよい未来をつくるのが僕の夢だ。この夢を実現するために僕は三つのことを附属中学校で取り組んでいきたい。一つは英語の学習に力を入れること、二つめはコミュニケーション力を高めること、三つめは一つひとつのことを丁寧に行うこと。自分自身を成長させ、充実した学校生活を送ることで、将来的には環境問題を解決する手段を見出し、笑顔があふれる世界にすることができると信じている。

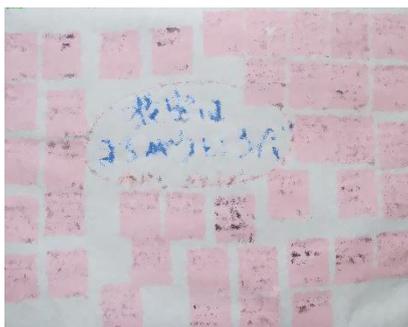


青空のようにおおらかに！

附属中学 9 期生が大切にしたいこと

教室に 40 人が揃うようになって、9 教科の授業の他に、道徳の時間も始まりました。道徳の時間に取り上げる内容は多岐にわたりますが、中学校生活をスタートさせたばかりの 9 期生は、まず「教室は間違ふところだ」「いじめを許さない 9 期生」を題材に考えました。この二つの題材は、3 年間の附属中学校生活の基本となります。豊かな学びと豊かな人間関係を構築するために、「自分ができること」を考え、宣言しました。

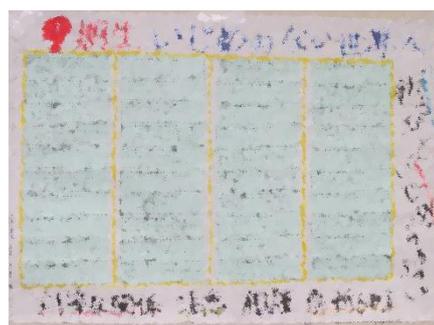
『教室は間違ふところだ』



「間違ふことは成長につながる。成長できるチャンスとポジティブに考えられるようになった」「いままで自分のことばかり気にしていたけれど「失敗してもいいんだ」とわかってとても考えが広がった！」…間違いから新しい気付きが生まれ、学びが深まります。みんなで活気ある学びの場を作ろう！



『いじめを許さない 9 期生』



「他人の長所をたくさん褒め、その人を尊重する」「困っている人がいたら声をかける」「自分のことだけでなく、相手の気持ちをわかろうと努力をする」「相手の考えを認める、否定しない」「誰に対しても同じようにふるまう」…絶対にいじめを許さない、そんな 9 期生になろう！



お知らせ

事務より

①学校配当予算報告

令和元年度 予算決算報告書

単位：円

費目	配当額	決算額	残額	備考（具体例）
学校運営振興費	13,120,400	13,070,848	49,552	備品、消耗品等

※残額は横浜市へ戻入されています。

令和2年度 予算執行計画書

単位：円

費目	配当額	執行予定額	残額	備考（具体例）
学校運営振興費	13,888,400	13,888,400	0	備品、消耗品等

※詳しい費目等はホームページでご覧になれます。

②就学援助について

・2月下旬まで随時受付しています。コロナによる家計が急変した世帯への特別審査も行っています。

水無月の福袋

第Ⅰ期は初めての中学校生活に緊張が最高潮、1年生のフロアは物音一つありませんでした。第Ⅱ期に偶数組と奇数組が出会い、またもや緊張。4週目ごろから9期生なりにチャレンジをし、フロアに笑みがこぼれるようになりました。例年のコミュニケーションプログラムができないことを気の毒に思っていました。9期生のもつ明るさに大人の方が救われました。これからの9期生の元気が楽しみです。